

2013年猪苗代湖の上位蜃気楼発生状況・他

星 弘之（北海道・東北蜃気楼研究会）

1. はじめに

会津地方は桜の開花が例年より1週間程度早まるなど暖かい日が続き、4月21日には積雪があり桜に雪が積もって珍しい花見が出来るという天候状況だった。

現在までに4/5、5/6、5/10、5/13の4回観測できた、猪苗代湖の最良の上位蜃気楼観測時期は過去の経験からゴールデンウィークであるが昨年続き残念ながら良い天候には恵まれず、西風が強く、風向風速が上位蜃気楼の発生パターン(北北東から北東の風・3m程度以下で前日夜半から当日朝方まで継続)とならず観測に不適の天候が続いていた。

2. 今期最大の変化のあった蜃気楼（5月6日）

ゴールデンウィーク終盤の5月5日夜半にアメダス猪苗代を見ると北東の風が3~4mと6日は期待できそうな様子。6日の4時過ぎに再度アメダスを確認すると朝方までやや強い北東の風が続いていた、風は強いが期待できそうなので6時過ぎ現地へ向かう。7時前に猪苗代湖東岸の観測地着、猪苗代湖の観測周囲は下位が出ており穏やかな雰囲気、ほとんど風はなく上位蜃気楼の発生を待つ、7時ごろ北岸で伸び始める。10時ごろ長浜方面の高さが今までに無く最大化、肉眼でもはっきり分かる程度に成長。



【長浜方面－1（観測地から約13km）】



【長浜方面－2（観測地から約13km）】

3. 2012年5月27日の上位蜃気楼

昨年の研究発表会以降に発生したものを紹介する、航行中の白鳥丸が上方反転し画面の左から右へ移動する様子で特徴は実像と虚像が非常にはっきりしていることである。このようなものは今回が初めてであった。



【長浜方面－3（観測地から約13km）】

4. 十和田湖の蜃気楼観測状況と上位蜃気楼の発生確認

2011年の発表会で新しい上位蜃気楼発生地を探す目標を掲げた。昨年の発表会のあと琵琶湖を見て十和田湖へ向かい5/23. 24. 25の3日間観測場所や対象物などの調査を行い、その後、6/2. 3の2日間再度訪れ観測したのでその様子と結果について紹介する。



【観測地と対象地】



【観測地の様子】



【子ノ口方面(観測地から約9.5km)】



【休屋方面(観測地から約8.5km)】

5. 最後に

今年の猪苗代湖は発生条件には恵まれなかったが4回確認、今まで発生があまりなかった志田浜方面のスワンボートが万華鏡のように変化する動画の撮影に成功するなど成果はあった。

十和田湖は猪苗代湖同様の地形で上位蜃気楼発生の可能性が大と思われるので昨年からの観測を始めた。観測の結果、微小な上位蜃気楼の発生が確認されたが、一時的なものか継続的に発生しているのかを今後観測していきたい、併せて同様の地形である田沢湖も観測してみたい。